

中山間地域を未来へ繋ぐ活動に参加しませんか？

～ しがのふるさと支え合いプロジェクト～

参加企業様
大募集!!



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

未来へつなぐバトン

「中山間地域」とは、山間地とその周辺の地域をいいます。滋賀県では、県土の約65%がこのような地域です。農村は、食糧生産の場であるだけでなく、雨水を一時的に貯えて、洪水や土砂崩れを防いだり、たくさんの生き物を育みます。また美しい農村の風景は、私たちの心を和ませる役割を果たしています。

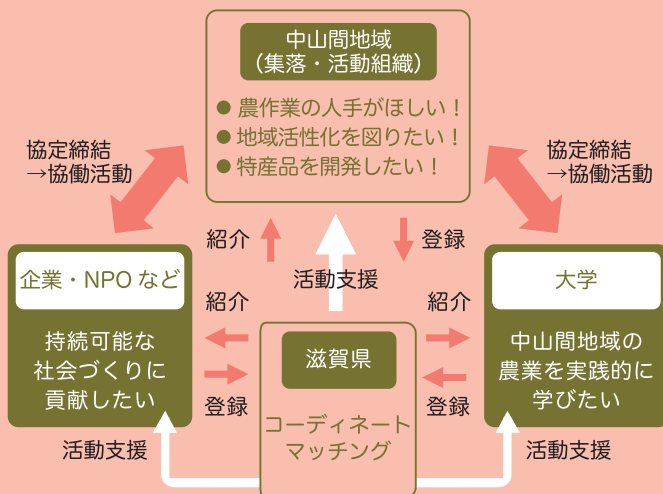
近年、中山間地域では人口減少や高齢化の進行、農業の担い手不足などにより、耕作放棄地の増加が心配されます。

今後、住民の力だけでは地域の農業、農村を維持するのが厳しい状況になりつつあります。

都市部に住む人々にも様々な『めぐみ』をもたらす中山間地域を、みんなで守っていきませんか？

都市と農村、世代を超えた人々との交流を「しがのふるさと支え合いプロジェクト」を通して広げ、この大切な場所を未来へつなぎましょう！

プロジェクトのイメージ



【しがのふるさと支え合いプロジェクト】事業紹介

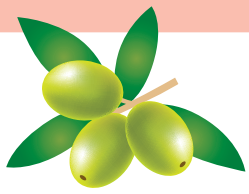
「しがのふるさと支え合いプロジェクト」とは、中山間地域の活性化を目的に、地域の集落等と企業や大学、NPO法人等の皆さんが協働し、農作業や棚田の保全活動、都市農村交流活動などを行っていただく取組です。

県では、協働活動のコーディネートや、相手先とのマッチング、協定を締結し協働活動を行う団体への支援を行っています。

高島市の南深清水FF倶楽部は、令和元年に県の「しがのふるさと支え合いプロジェクト」に登録し、地域活性化に向けた協定を締結して、農作業等の協働活動に協力してくれる企業等を募集しています。

詳しくは
こちら





たかしましみなみふかしみず

高島市南深清水の紹介

【アクセス】湖西バイパス深清水ランプから0分、JR 湖西線近江中庄駅より徒歩20分



南深清水



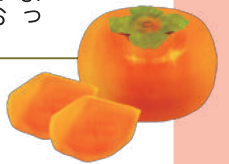
南深清水FF倶楽部

南深清水は約百年も続く、県内随一の柿の産地「高島市今津町深清水」に位置する。見渡す限り一面に広がる柿畑は、冬の落葉したシーズンであっても圧巻の景色。二百人ほどの集落で、南深清水FF倶楽部は、地元の未来の為に2016年12月に、20代から60代までの地元柿農家を中心に10人の有志が立ち上げた。最近に移住者や地域外からの人がきっかけで地域活動に火がつくケースが多いが、FF倶楽部はすべて地元で生まれ育ったメンバーで構成されており、地域に対する熱い思いが伝わってくる。FF倶楽部の「FF」は、For The Future（将来のために）の略で、南深清水の未来のために、そして「健康」をテーマに掲げ活動している。



雪が降る南深清水での「オリーブ」栽培の挑戦

FF倶楽部では、高齢化で耕作放棄地となってしまう柿畑を整備し、現在は2本のオリーブを植えており、将来的に産地化を目指しているという。オリーブといえば暖かい気候の作物のイメージだが、栽培を始めた理由を、オリーブ茶をいただきながら、FF倶楽部の桂田さんたちに伺った。「この地域の魅力を発信するために、どうしたらいいか模索してたんです。その時たまたま石川県でオリーブ栽培をしているという記事を見て、驚きました。雪も降り寒いのになんでも？と思ったのが発端なんです。」調べていくうちにオリーブ栽培をしている寒い地域があり、南深清水でもできるのではないかと思ったそう。オリーブ栽培のメリットは主に3つある。まず、オリーブは健康と美容に効果があり、南深清水の魅力発信につながる。と。いただいたオリーブ茶は独特の味だったが、ポリフェノールがたっぷり体に良いそう。まさしく、FF倶楽部のテーマ「健康」に合う作物だ。2つめは獣害に強いこと。中山間地域なのでシカやサルやカラスなどの野生動物とは隣り合わせだ。野生動物の被害に合にくいのはモチベーションの面でも嬉しい。そして3つ目は、比較的栽培に手間がかからないこと。特産品である柿は手間がかかるが、オリーブは管理作業が少なく高齢者でもできる。これからの世代のために考えると非常にいい作物だ。2018年の春に植えたオリーブは、まだ2m程度の背丈で可愛らしいサイズだが、去年の秋には実も収穫でき、雪が降る南深清水でも育つことが証明された。今春にはさらに110本のオリーブを植樹し、未来への投資を進めていく。FF倶楽部の活動は新しいオリーブだけではなく、特産品である「柿」の新たな価値も探っている。柿の収穫シーズンには、龍谷大学農学部の子生たちの協力を得て、柿祭りを開催した。柿のタルトや柿の天ぷら、柿酢などを提供し、大盛況だったそう。伝統ある柿栽培もこれまで同様大事にし、未来にもつなげるオリーブに投資する。まさしく地域の変革期であるが、これが数年後、形になり地域を支えると思うとワクワクする。



共に未来の健康に向かって進むパートナーを募集

兼業農家も多いFF倶楽部のメンバーは、農作業が「息抜き」にもなっている。畑から見える琵琶湖、そこに浮ぶ竹生島はすべてを忘れる程に美しく、広々としたオリーブ畑で農作業することは、心も体も癒やされるそう。農業が身体的・精神的な健康にもたらす効果を、企業が働く人やその家族の方々に提供したいと考えており、パートナー企業を募集。オリーブの植樹作業や収穫作業、柿の加工品づくり、野菜づくりなどを通じて南深清水で「健康づくり」に取り組みたい方はぜひ声をかけてほしい。



「南深清水FF倶楽部」

代表 桂田 隆司 氏

お問い合わせ先

滋賀県農政水産部農村振興課 地域資源活用推進室

〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1番1号
TEL: 077-528-3963

詳しくはこちら

